

+
•
○

ドイツの移民政策と 「統合コース」における CEFRおよびCEFR-CVの文脈化

2022年11月11日（金）

真嶋 潤子

本日の内容

1. ドイツの移民政策：経緯
2. 移民の「統合コース」とは：概要と位置づけ
3. 「統合コース」の「言語コース」と「（社会案内）オリエンテーション・コース」
4. 「言語コース」のカリキュラムとCEFR
5. 「（社会案内）オリエンテーション・コース」の特徴
6. CEFR-CVの文脈化

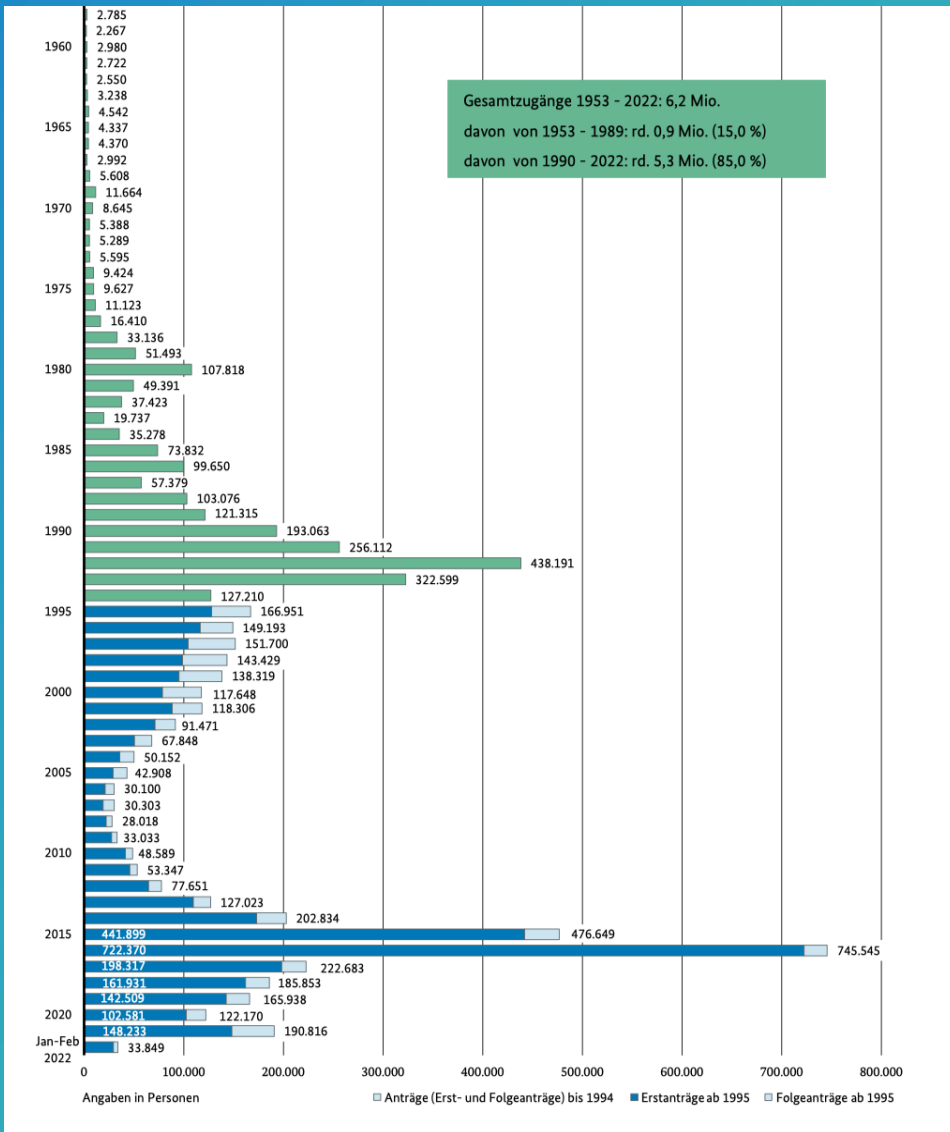
<資料> ドイツの移民受け入れの現状

- ドイツの人口は8320万人（連邦統計局 2021）
- 人口の4分の1、2200万人が移民背景を持つ人口
 - 本人または少なくとも両親のどちらかが出生時にドイツ国籍を持っていなかった人
 - うち外国籍の人は1140万人
- 出身国上位：トルコ、ポーランド、シリア、ルーマニア、イタリア、クロアチア、ブルガリア、ギリシャ、アフガニスタン、ロシア（2020末現在）

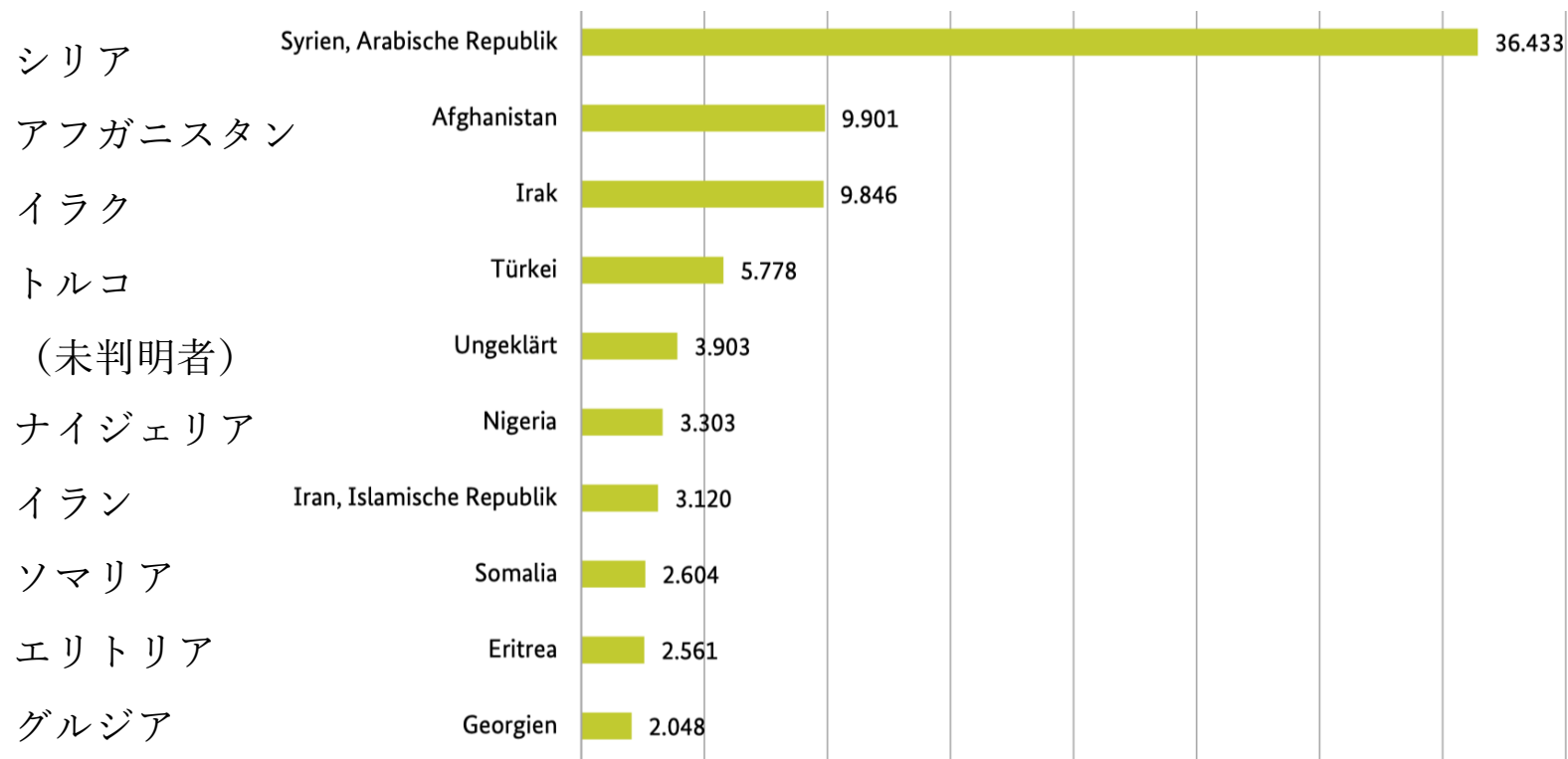
ドイツの難民 受け入れ数 1953～2022年

- 1989～ アフガニスタン
- 1991～2001 旧ユーゴスラビア
- 2003～ イラク
- 2015～16年 シリア
- 2022～ ウクライナ

BAMF Zahlen 2022 より



ドイツにおける2020年の難民認定申請者 上位10カ国



Zahl der Asylerstanträge im Jahr 2020
(Angaben in Personen)

Quelle: BAMF, Stand: 31.12.2020

EU各国の総人口に占める 外国籍人口の割合

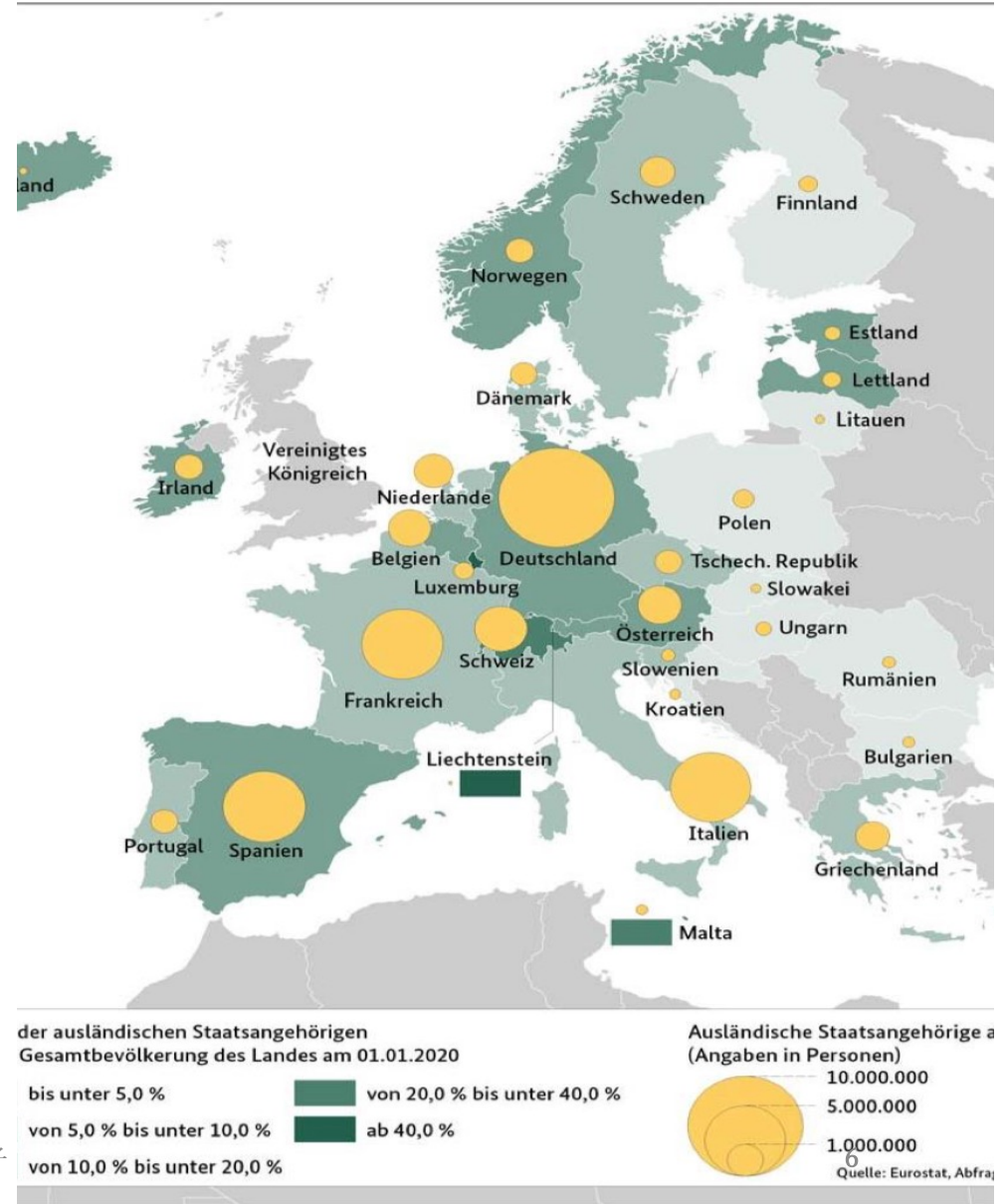
割合が多いのは、
リヒテンシュタイン
ルクセンブルク
スイス
マルタ

実数・総数は、ドイツが最大

(2020.1.1.現在 BAMF MINAS 11 版 2021; 44)

2022/11/11

真嶋 潤子



1. ドイツの移民政策: 経緯

1950年代以降～2001年頃 「外国人労働者」への対応の変遷

- 社会不安→移民の社会統合へ

2005年 移民法の施行 連邦移民・難民庁
(BAMF)設置→「移民統合」のために「統合コース」の設置 <移民国家になる>

- 2009年「統合の失敗」の大合唱

現在 「統合の成功」へ更新中

(BAMF Minas 2021)

「移民国家」への反対意見も多かった

- 過去の苦い経験に学ぶ
 - ドイツ語の不要な非熟練労働力にすること「ガストアルバイター」→相互不信で偏見や差別、社会の周縁化→外国人嫌い、社会不安
 - ネオナチ等に襲撃される移民の犠牲者が100人超え
 - 9. 11同時多発テロの実行犯の中に、ドイツで暮らし教育を受けた者がいたこと→ドイツ社会に大きな衝撃
 - PISA調査結果の低迷は「外国人・移民」のせいだ！
- 難民受け入れを減らそうとしたことも（難民法の改定→変更）

「移民国家」となる決意

- 「ドイツ社会の繁栄と高いQOLを維持し持続可能な発展性を考えた場合に、他に選択肢はない」（ゲーテ・インスティテュートの元所長との個人的会話より）
- 2005年「移民法」施行
 - それまでの紆余曲折
 - オーストリア、オランダ、デンマーク、スウェーデンの政策を参照した「統合コース」
- 2005年「**連邦移民・難民庁BAMF**(Bundesamt für Migration und Flüchtlinge)」の設置。「統合コース」の構築・運営・評価の担当を含む、移民・難民関連の全ての業務の総元締。
- BAMFの核になるのは「**統合コース**」と「移住相談」(BAMF Minas 2021)

<資料> BAMF 連邦・移民難民庁とは

(Bundesamt für Migration und Flüchtlinge /Federal Office for Migration and Refugees)

- 移民法（2005年）に基づく内務省管轄行政機関 本部はニュルンベルク
- 職員8100人（2022）
- 組織は10部門23セクションに分かれ、全国支局を統括
- 業務により連邦労働社会省、連邦家庭・高齢者・女性・青少年省 等他省庁との連携
- 主業務：1 移民と滞在、2 統合、3 難民・避難民、4 帰還
- 予算：約7億5700万ユーロ（約1100億円）（2022）

<資料>

BAMF連邦移民難民局の 全国の地方事務所



Regionalstellen des Bundesamtes für Migration und Flüchtlinge

- Standort mit Regionalstelle
- Standort mit Regionalstelle und Fachreferat
- Operative Umsetzung Berufssprachkurse
- Zentrale des Bundesamtes
- weiterer Standort*

* ggf. mehrere Liegenschaften an einem Standort möglich

真嶋 潤子

統合の成功に向けて

- ドイツには約2200万人の移民背景を持つ人が住んでいる。
- 彼らが自分のスキルや能力で積極的に社会を形成できるようにすることは、社会の結束と我が国（ドイツ）の将来の存続にとって重要な課題である。
- **社会統合への努力をする全ての移民**に対して、国家は**基本的な支援を提供**している。

(BAMF [Minas](#): Atlas über [Migration](#), [Integration](#) und [Asyl](#), 2021, p.49)



何のためのドイツ語教育か

- 「言語能力の獲得」は何のためか？語学テストのためなのか？
- 移民政策における「統合コース」で目指すもの
 - 民主主義国家の市民として応分の働きができるような「社会統合」
- 移民のドイツ社会での「統合 Integration」のため
 - 「自立した市民」になること（CEFR B1レベル以上）
 - 社会の安定・発展に寄与すること →労働市場への可能性を広げる

「ことばの教育」だけでは「統合」は完了しない

→「(社会案内)オリエンテーション・コース」

2. 移民の「統合コース」とは：概要と位置づけ

「統合コース」：自立を目指す CEFR A2-B1

「語学コース」 + 「（社会の案内）オリエンテーション・コース」

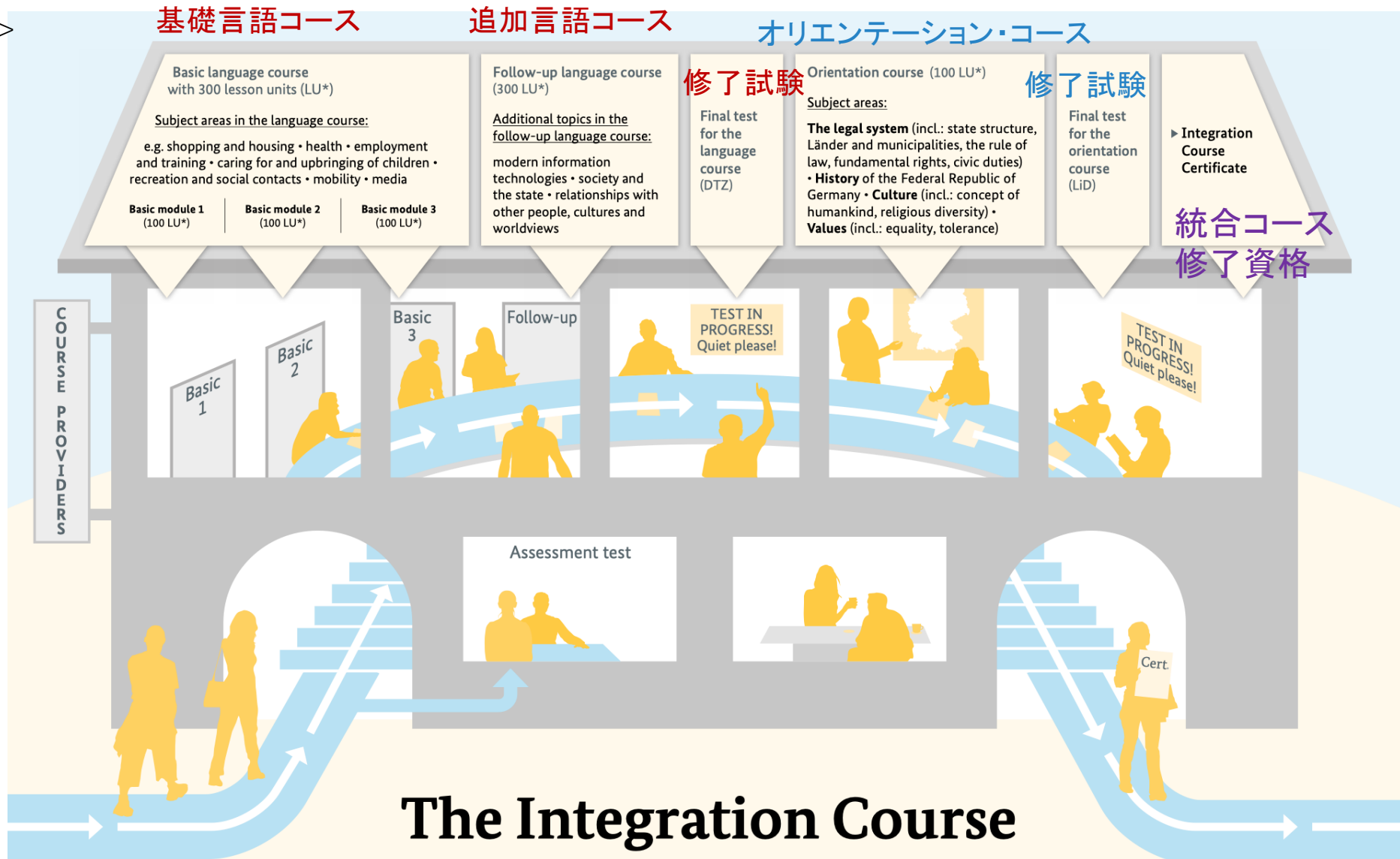
「職業語学コース」（内容と資格試験を更新中）

職場でのドイツ語能力の向上

国外で得た資格のドイツでの認定制度

労働市場や職業研修へのアクセスを増やす

<資料>



The Integration Course

3. 「統合コース」の「言語コース」と「(社会案内)オリエンテーション・コース」

- 「語学コース」：CEFRのB1「自立的学習者」のレベルの基礎的ドイツ語を身につけて「支援なしに日常生活が送れる」ことを目指す → 「移民のドイツ語テスト DTZ」
- 「オリエンテーション・コース」：ドイツの政治、歴史、人と社会のあり方や**価値観**等を学ぶ（B1レベルのドイツ語で）
 - ①民主主義の政治、②歴史と責任、③人と社会

(BAMF (2017) *Curriculum für einen bundesweiten Orientierungskurs, Überarbeitete Neuauflage für 100 UE-April 2017*. [連邦共通オリエンテーションコース用カリキュラム]に基づく認定教科書を使う。)

<資料> 統合コースの特別「言語コース」

- 様々な事情で時間がかかる人
 - 事情により600単位に加え300単位まで追加できる（合計900単位）
 - 試験に合格できなかった場合、事情により再受講できる
- 学校教育を受けた経験が少ない人
- 識字力が低い人
- 母語がアルファベット以外の文字で、学習に時間がかかる
- 乳幼児を抱えている人（母親）
- 家族や自分の健康上の問題等

<資料> 「統合コース」の経費

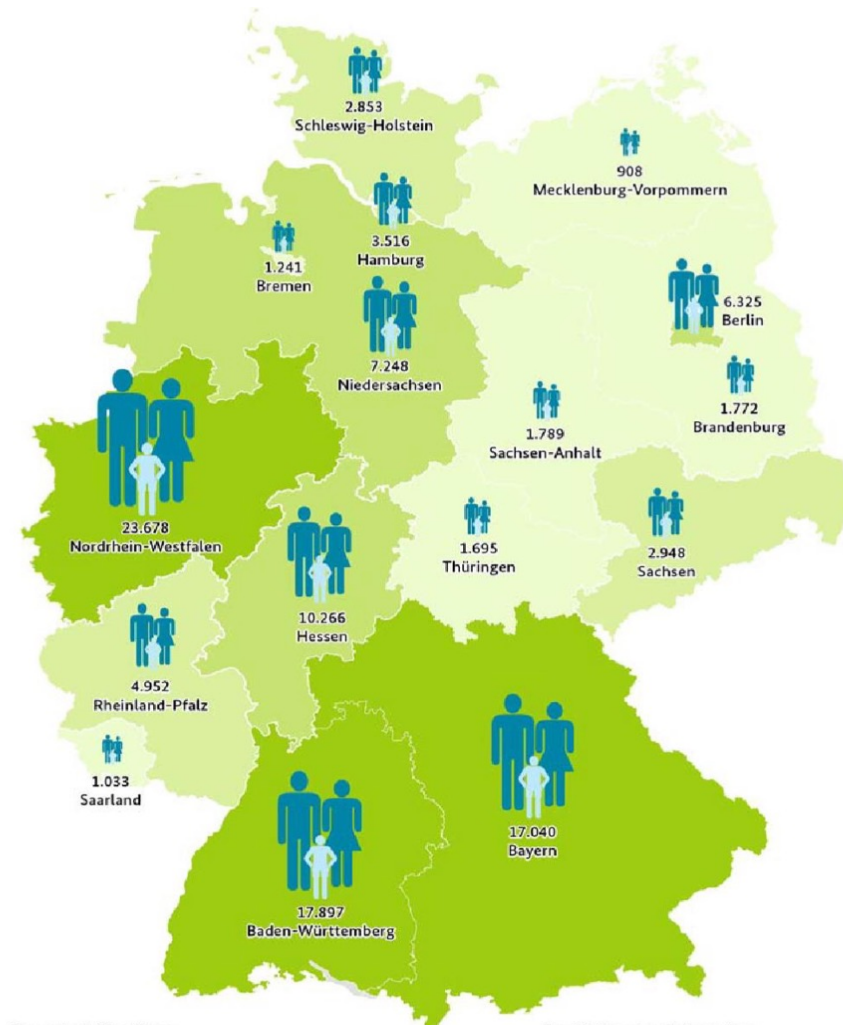
- 自己負担がない／少ないように、制度を工夫
 - 受講許可や受講義務がある人は、無料
 - 既に働いている場合、1単位ずつの料金（2.35ユーロ）を負担するが、雇用者が半額負担することも
 - 再受講等（有料）でも、試験に合格したら半額返金される
- ←コース参加の動機づけを工夫

「統合コース」の参加者

- 参加許可を得た人：16万人（2020）
- その内訳：
 - 2005年以前から在住のEU市民、ドイツ人、難民申請者：42.5%
 - 新たに入国した第三国出身者：39%
 - 失業認定ALG IIを受け、外人局から受講指示を受けた人：13.2%
 - 2017年より難民法AsylbLGにより、受講義務化された人：3.2%

(BAMF Minas 2021)

<資料>
 連邦州別
 新規コース
 受講者数 (2020)



Prozentuale Verteilung der neuen Integrationskursteilnehmenden auf die Bundesländer im Jahr 2020

- bis unter 2,0%
- von 2,0% bis unter 5,0%
- von 5,0% bis unter 10,0%
- von 10,0% bis unter 15,0%
- ab 15,0%

Anzahl der neuen Integrationskursteilnehmenden nach Bundesländern im Jahr 2020

- 10.000
- 5.000
- 1.000

Quelle: BAMF, Abfragestand: 01.04.2021

<資料> 統合コース参加者

- 2005~2020年の間に、累積合計約340万人が受講する権利（義務）を認定された
- うち2019年には235,083人、2020年には168,279人
- 2020年には37,211人が再受講者
- 参加認定を得て実際に受講開始したのは240万人（2005~2020年）
- うち2019年176,445名、2020年105,964名
- 修了試験合格率：「語学」DTZ 60%程度 + 「オリエンテーション・コース」LiD 90%強（2020実績）

<資料> 「統合コース」の教員

- 資格保有者 統合講座条例 (IntV) 第15条
 - 大学でDaF/DaZ外国語/第二言語としてのドイツ語教育を専攻した者
 - 当該分野での教育経験
 - それ以外の専門の場合は、追加研修により(暫定資格で)認定 (telc, ゲーテ・インスティテュート, FIF (Förderung der Integration durch Fortbildung [研修による統合促進])などで受講可能)
- 謝金講師の1単位当たりの報酬は42.23EURとする (2022.8)
- アルファベットコースの教員研修と待遇改善
 - 識字教育の専門性に鑑み、追加研修を受けた講師の待遇改善検討中 (konzeption-fuer-die-zusatzqualifikation-von-lehrkraefte, BAMF)

<資料> Telcとは

- The European Language Certificatesの略称「ヨーロッパ言語資格：テルク」と呼ばれる
- 50年以上言語教育・試験開発の歴史あり 10言語、90種以上の試験を提供
- 2006年にWBT（成人教育検定システム社）が改名(telc gGmbH)
- ISO9001を取得した非営利団体
- 語学資格とテストシステムを開発し、教材開発
- BAMF（連邦移民・難民庁）の提供する移民への「統合プログラム」の実施母体選ばれた。（業務委託）
- VHS(Volkshochschule市民大学) 協会が母体（全国1,600箇所以上）
- EMLC（欧州評議会CoE, ヨーロッパ現代語センター）、ゲート・インスティテュート、ALTE(ヨーロッパテスト学会)、EAQUALS（Excellence in Language Education, 個人や学校の認証評価協会）等との連携
- 「統合コース」の提供ならびに修了試験、資格試験をtelc(実際はVHS)、ゲート等の語学学校、NPO法人等、全国6,500カ所以上の認定コース・プロバイダーと行っている。（2022年現在）

<資料> The European Language Certificates (telc)のページ（英語版）



Menu 



News

01/07/2021

telc digital

New at telc: Hybrid exams

[Read more](#)

「職業語学コース」

- 「統合コース」を修了した後の就職活動の支援が目的
- CEFRのB2以上（場合によりA2でも受けられるコースも）
- 一般語学コース、分野別コース、職業資格の認定手続きのためのコースの3つに分けられる
- 2016～2020年約562,000人が参加
- ドイツ語支援条例（DeuFöV）は、職業語学コースを利用できる人のグループを定義している。
- 2020年 全国で1,153の職業語学コース提供者が認定されている。
- 7,600以上の職業語学コース認定、うち7,269開始。（BAMF 2021）

<資料>
全国の職業語学コース認可事業者
(2020年 1153事業者)



(BAMF Minas 2021)

Zugelassene Berufssprachkursträger zum Stichtag 31.12.2020
nach Bundesländern

Zugelassene Berufssprachkursträger
zum Stichtag 31.12.2020 nach Gem...

<資料> 『職業語学コースのための学習目標カタログ』 BAMF(2019)



BAMF – Learning-Goal Catalogue for Vocational Language Courses

In close cooperation with the non-profit company telc gGmbH, the ITT has developed new learning goals for the BAMF's special vocational language courses A2 and B1 and basic vocational language courses B2 and C1.

[read more ^](#)

Divided into eleven fields of action and scaled to the CEFR levels A2 to C1, a total of 1,250 speech acts provide a representative sample of the actual language used in an individual's professional life.

The learning goals offer a comprehensive planning basis for teaching and for the development of new certificate examinations A2-C1, which will be introduced in late 2020.

They can be downloaded from the [BAMF website](#).

ITT (Institute for Test Development and Test Research) がtelcと連携で作成(248ページ)

<資料>

telc ドイツ語資格試験レベル一覧

C1 職業のためのドイツ語 **職業** (高度専門)

C1 大学のドイツ語

B2-C1 **職業**のためのドイツ語 医学関係者

B2 **職業**のためのドイツ語 医療関係者 (看護師)

B1-B2 **職業**のためのドイツ語

B1-B2 **職業**のためのドイツ語 ケア関係者 (介護士)


B1 ドイツ語資格 (就労・永住申請資格等)

A2-B1 移民の統合コース修了資格 (DTZ)

A2+ **職業**のためのドイツ語

2022/11/11

真嶋 潤子



Unsere Sprachenzertifikate für Deutsch

C2	telc Deutsch C2
C1	telc Deutsch C1
	telc Deutsch C1 Beruf
	telc Deutsch C1 Hochschule
B2-C1	telc Deutsch B2-C1 Beruf
	telc Deutsch B2-C1 Medizin
	telc Deutsch B2-C1 Medizin Fachsprachprüfung
B2	telc Deutsch B2+ Beruf
	telc Deutsch B2 Medizin Zugangsprüfung
	telc Deutsch B2
B1-B2	telc Deutsch B1-B2 Beruf
	telc Deutsch B1-B2 Pflege
B1	telc Deutsch B1+ Beruf
	Zertifikat Deutsch Zertifikat Deutsch für Jugendliche
A2-B1	Deutsch-Test für Zuwanderer
A2	telc Deutsch A2+ Beruf
	Start Deutsch 2
	telc Deutsch A2 Schule
A1	Start Deutsch 1
	telc Deutsch A1 für Zuwanderer
	telc Deutsch A1 Junior

28

4. 「言語コース」のカリキュラムとCEFR



『統合コースカリキュラム枠組み』 Framework Curriculum

- 2006年に内務省の委託でゲーテ・インスティテュートが開発した
- 2016年に改訂した『第二言語としてのドイツ語 DaZの統合コースのためのカリキュラム枠組み』
- 統合コースの学習目標と内容について、コースモデルや教材配布計画の基礎となるカリキュラム枠組み
- CEFR A2-B1レベルの言語技術・能力を評価できるような移民のためのテスト開発（の元になるもの）

『統合コースカリキュラム枠組み』の特徴

- 2005 「ドイツ語プロフィール *Profile deutsch*」 と 「ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR」 を参照した **文脈化**
- **ニーズ分析** で 「移民の言語行動」 の特徴把握
 - ポイント：助けなしでも **移民として必要な行動** がドイツ語でできる
- 「統合」 のための留意点の指摘
 - ポイント：多様な学習者の異文化理解経験、学習速度や心理面にも配慮
- 「統合コース」 の次の段階である 「職業用ドイツ語」 につなぐ

移民へのニーズ分析の結果

左) コミュニケーション活動が必要な生活領域

右) 活動領域で必要なコミュニケーションのテーマ

FIELDS OF ACTION OF OVERARCHING COMMUNICATION

COMMUNICATION IN FIELDS OF ACTION

	OFFICES AND AUTHORITIES
DEALING WITH THE MIGRATION SITUATION	WORK
	SEARCH FOR WORK
REALISATION OF FEELINGS, ATTITUDES AND OPINIONS	EDUCATION AND TRAINING
	BANKS AND INSURANCES
DEALING WITH DISSENT AND CONFLICT	CHILDCARE AND EDUCATION
	SHOPPING
SHAPING SOCIAL CONTACTS	HEALTH
	MEDIA USE
	MOBILITY
DEALING WITH YOUR OWN LANGUAGE LEARNING	TEACHING
	LIVING

<BAMF 『カリキュラム枠組み』より>

移民へのニーズ分析の結果 (拙訳)

コミュニケーション活動が
必要な生活領域

- 1 移民状況への対応
- 2 感情、態度、意見の表明
- 3 意見の相違や衝突への対応
- 4 社会的接触を形成する
- 5 言語学習を自己管理する

活動領域で必要な

コミュニケーションのテーマ

- (a) 役所や事務所
- (b) 仕事 (c) 就職活動
- (d) 教育と研修 (e) 銀行と保険
- (f) 保育と教育
- (g) 購買
- (h) 健康 (i) メディア活用
- (j) 移動・交通 (k) ドイツ語
学習 (l) 住まい

LEARNING OBJECTIVES	ACTIVITIES	LEVEL	ACTION GOALS	FOCUS ON REGIONAL ISSUES
Can speak simply and briefly about his/her reasons for migrating, e.g. family or political situation, desire for a job.	take part in the conversation	A2	Would like to exchange views on the reasons and goals of migration.	Knows that in Germany no one may be discriminated against because of their origin or religion.
Can talk about him/herself and his/her situation in the country of origin using very simple means, z. E.g. about the family, the reason for fleeing, the profession learned.			origin.	
Can refuse to talk about things that happened at home or during the flight, to speak.	take part in the conversation	A1		Knows that no one has to give information against their will.
Can give a simple and brief account of his/her experiences, e.g. support from family members on arrival in Germany.	speak	A2	Would like to talk about his/her migration experience.	
Can describe life in his/her country of origin in simple terms, e.g. compare the country, the family, the profession learnt, everyday habits and individual concrete aspects with the situation in Germany.	speak	A2		
Can describe in simple terms conventions, rules and norms in the country of origin and compare them with own experiences and the reality of life in Germany.	take part in the conversation	A2		
Can talk about differences and present and justify his/her own position, e.g. in relation to gender equality.	take part in the conversation	B1		

例：1-(a) 役所や事務所でのコミュニケーション

- 学習目標「自分の移住の理由を簡単に短く話すことができる。例えば家族や政治状況、就職の希望について
- 活動：会話に参加する
- レベル：A2
- 行動ゴール：移民の理由や目的についての見方を交換したい
- 地域（ドイツ）理解：ドイツでは人は出身や宗教によって差別されないことを知っている

(BAMF 『カリキュラム枠組み』 p.30)

移民用「語学コース」A2-B1の修了試験 Deutsch Test für Zuwandere(DTZ)

DTZ：600単位の語学コース終了後

筆記 + 口頭試験（2～4人で） = A2の内容4割、B1の内容2割

口頭試験： <自己紹介・二人で話し合う・短いプレゼンと
質疑>からなる ⇐CEFR

- DTZ合格者は「オリエンテーション・コース」100単位へ

5. 「（社会案内）オリエンテーション・コース」の特徴 Der Orientierungskurs

- ドイツ語能力A2-B1（DTZ）の次に、ドイツ語でドイツ社会を学ぶ100単位
- BAMFの「連邦共通移民統合カリキュラム」に基づく
- 対象は多様な背景を持つ移民の成人→シリアスな内容
- ドイツ社会に関する知識をドイツ語で理解し、それについて話しあえる。毎回の学習目標の意識化と自己チェック
- can-do記述：「私は[]について説明できる」 ←CEFR
- フルカラーの教科書、聴解教材CD、聞く・話すインターアクティブな練習をオンラインで（携帯のアプリで）使える



教材例： *Mein Leben in Deutschland* 2. Auflage
(2022)Hueber

My Life in Germany の目次

- モジュール1 民主主義の政治
基本的な人権、法制度、国の責務と市民の義務、…
- モジュール2 歴史と責任
ナチスとその結末、ドイツの分裂と統一、ヨーロッパの統合…
- モジュール3 人と社会
家族とその形態、男女の役割、子どもの教育、寛容と共生、宗教と多様性

「シティズンシップ教育」「政治教育研究」の蓄積

**1** Was ist Toleranz?

Lesen Sie die Definition und übersetzen Sie das Wort „Toleranz“.

Etwas ist anders als man selbst. Trotzdem stört es einen nicht. Ein toleranter Mensch hat kein Problem mit anderen Meinungen, Verhaltensweisen oder Lebensstilen. Er geht friedlich und respektvoll mit Menschen um, die anders denken und leben als er.

„Toleranz“ heißt in meiner Muttersprache

例：モジュール3 人と社会

1 寛容とは？

• 次の文を読んで「寛容」という言葉を訳しなさい。

• 「私の母語で、「寛容」は[]です」

- 何ができるようになったか、自己チェック
- 教師用指導マニュアルも完備

BAMF 認定教科書リスト (2020)

- 「統合語学コース」用 22種
- 「(社会案内) オリエンテーション・コース」用 5種
- 特別語学コース用
 - (子育て中の両親) 母親コース用
 - アルファベットコース用 22種
- 職業語学コース用

認定教科書は、BAMF「連邦共通移民統合カリキュラム」をふまえている
必要性がある」

「オリエンテーション・コース」と 修了試験 **Leben in Deutschland (LiD)**

- (100単位時間の) コース終了後、オンライン・テストで
全国一律の内容
- 回答はBAMFが一括管理
→ 受験者に直接通知 → 「合格証明書」が重要に



6. CEFR-CVの文脈化

(ドイツ語版) *GER-Begleitband*

(欧州言語共通参照枠補遺版) (2020) Klett社

欧州評議会

ゲーテ・インスティテュート

文化大臣会議KMK (16州)

オーストリア・ドイツ語検定協会

* 『職業語学コースのための学習目標カタログ』
BAMF(2019)にmediationが考慮に入れられた
(p.11)

**CEFR-CV のmediation が実際に教授法の
一つとしてtelcの教員研修に取り上げられている

telc 教員研修プログラムでの 「Mediation 仲介」 <文脈化事例>

- <職業語学コース>の教員向けオンライン研修の一つ
 - 「成功の鍵」：仲介とシナリオ
 - 職業語学教育において、スキル「仲介」を用いた行動主義的手法の有益な活用について考察する。
 - BSK（職場の言語コース）のシナリオを利用して、参加者が複雑な言語ストラテジーを身につけられるよう指導する。
 - 言語と内容の面で、参加者の日常的な社会生活への準備を行い、コミュニケーション能力を体系的に促進する。

<telc サイトより>

「統合コース」の実施、評価、調査、改善

- 第1段階：「統合コース」の「語学コース」「オリエンテーション・コース」の開発・運営・実施・評価・調査・改善
- 第2段階：「職業語学コース」の開発
- 第3段階：運営上の問題の把握、調査、改善
- 第4段階：変化する移民・難民の状況に合わせて、調整・開発
- 「透明性」「一貫性」「柔軟性」を持って事業を持続

BAMFの担当者：「この仕事で「コースが成功しました」と言い切れることはないと思う。次々と状況は変化しているので、私たちの仕事は続いています。」

参考文献

- 伊藤亜希子（2017）『移民とドイツ社会をつなぐ教育支援 - 異文化間教育の視点から』九州大学出版会
- 小林薫（2009）「ドイツの移民政策における「統合の失敗」」ヨーロッパ研究 = European studies 8 119-139[含 英語文要旨], 2009-03 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ドイツ・ヨーロッパ研究センター
- 日本国際交流センター（公益財団法人）（2017）『ドイツの移民・難民政策の新たな挑戦－2016ドイツ現地調査報告－』
- 野澤由紀子（2013）．「アクティブ・シティズンシップとヨーロッパ」．『統合ヨーロッパの市民性教育』41-56．名古屋大学出版会
- 福澤啓臣（2019）「大量難民を受け入れた法治国家ドイツの苦悩」『現代の理論』第19号
- 吉満たか子（2019）．「ドイツの移民・難民を対象とする統合コースの基本理念と現実」．『広島外国語教育研究』22． 29-43． 広島大学外国語教育研究センター
- 吉満たか子（2020）「ドイツの移民・難民対象のオリエンテーションコースのカリキュラムと教科書に関する一考察」『広島外国語教育研究』23． 95-109． 広島大学外国語教育研究センター
- 吉満たか子（2022）「コロナ禍におけるドイツの移民・難民のための統合コース」『広島外国語教育研究』 25． 199 – 210． 広島大学外国語教育研究センター

欧文参考文献

- Buchwald-Wargenau, I. (2022) *Mein Leben in Deutschland 2. Auflage*, Hueber Verlag.
- Bundesamt für Migration und Flüchtlinge (BAMF) (2021) *Minas: Atlas über Migration, Integration und Asyl, 2021*
- Bundesamt für Migration und Flüchtlinge (2015) *Konzept für einen bundesweiten Integrationskurs*
- Bundesamt für Migration und Flüchtlinge (2017) *Curriculum für einen bundesweiten Orientierungskurs, Überarbeitete Neuauflage für 100 UE-April 2017*. [連邦共通オリエンテーションコース用カリキュラム]
- Bundesamt für Migration und Flüchtlinge (2022) *Das Bundesamt in Zahlen 2021*.
- Kay, R., Eckhard, J. & Tissot, A. (2021). *Digitales Lehren und Lernen im Integrationskurs*. Working Paper 91. Bundesamt für Migration und Flüchtlinge.
- Bärenfänger, O., Nitsche, N. & Plassmann, S. (2019). *Berufsbezogene Deutschsprachförderung, Lernziele: Spezialberufssprachkurse A2 und B1 Basisberufssprachkurse B2 und C1*. The European Language Certificates (telc). [就労のためのドイツ語支援 学習目標：就労のための特別言語コースA2とB1, 職場の基礎的言語コースB2とC1]
- Goethe-Institut (2006) *Profile deutsch*
- Goethe-Institut (2006, 2007, 2016) *Rahmencurriculum für Integrationskurse Deutsch als Zweitsprache*. [第二言語としてのドイツ語統合コースのためのカリキュラム枠組み]
- Goethe-Institut, Council of Europe (2020) *Gemainsamer europäischer Referenzrahmen für Sprachen: lernen, lehren, beurteilen-Begleitband*, Klett [欧州言語共通参照枠補遺版]
- telc. (2022) *Gesamtprogramm 02/2022, telc Training für Lehrkräfte , fortbilden, tr qualifizieren*.

ご清聴ありがとうございました。

真嶋潤子